

5章 その他の手続き

	ページ
1 フロン類の再利用	5-2
1 フロン類の再利用連絡	5-2
2 フロン類の再利用連絡の手順	5-2
2 フロン類の年次報告	5-3
1 フロン類の年次報告について	5-3
2 フロン類の年次報告の手順	5-5
3 事業者登録情報の変更・削除	5-6
1 フロン類回収工程の事業者の場合の基本フロー	5-6
4 ボンベ専用ケース	5-8
1 ボンベでフロン類を引渡す事業者	5-8
5 自動車フロン類引渡状	5-9
1 自動車フロン類引渡状について	5-9
2 自動車フロン類引渡状入れ	5-9

1 フロン類の再利用

1 フロン類の再利用連絡

回収したフロン類を再利用する場合は、電子マニフェストシステムで「フロン類再利用車台連絡」を行う必要があります。フロン類を再利用用ボンベに充てんした都度、すみやかに「1.10 フロン類再利用車台の連絡」を行ってください。

ポイント

フロン類を再利用する場合は、フロン類を再利用用ボンベに充てんした年度で「フロン類再利用車台の連絡」を行ってください。

2 フロン類の再利用連絡の手順

〔1.10 フロン類再利用車台の連絡〕

フロン類回収工程 > フロン類再利用車台の連絡 >
対象車台の選択 (JPRS2500)

メニューに戻る ログアウト 画面印刷 ヘルプ

1. 再利用実施事業者 (自社) 情報

事業者コード	222222299901	事業者/事業者名 (詳細)	品川解体工業 (株) 品川工場	取扱フロン類種別	CFC
--------	--------------	---------------	-----------------	----------	-----

2. 引取報告済車台の一覧

引取報告日	車台番号	型式	車名	フロン類 車種クラス	報告年度	再利用 対象選択
2004/11/20	AA111-0110123	AA111	〇〇〇	乗用車等	2004	<input type="checkbox"/>
2004/11/20	BB222-0120134	BB222	△△△	乗用車等	2004	<input type="checkbox"/>
2004/11/20	CC333-0345981	CC333	□□□	乗用車等	2004	<input type="checkbox"/>
2004/11/20	DD444-0440456	DD444	☆☆☆	乗用車等	2004	<input type="checkbox"/>
2004/11/20	EE555-0550987	EE555	◇◇◇	乗用車等	2004	<input type="checkbox"/>
2004/11/20	FF666-0660978	FF666	◇◇◇	乗用車等	2004	<input type="checkbox"/>
2004/11/20	GG777-0771231	GG777	☆☆☆	乗用車等	2004	<input type="checkbox"/>
2004/11/20	HH888-0854592	HH888	△△△	乗用車等	2004	<input type="checkbox"/>

(注) 保存、確定等のボタンをクリックせずにメニューに戻った場合は、入力内容が保存されませんので注意してください。

メニューに戻る 確定

- 1 再利用する車台の「再利用対象選択」欄をチェック
- 2 フロン類を再利用した年度「報告年度」欄より選択
※通常は現在の年度をデフォルト表示しています。
- 3 「確定」をクリックします。

メモ

詳細は「パソコンを利用した移動報告 (電子マニフェスト) 詳細マニュアル フロン類回収工程編」を参照してください。

2 フロン類の年次報告

1 フロン類の年次報告について

回収したフロン類を自動車メーカー等へ引き渡す場合は、電子マニフェストシステムで「フロン類年次報告」を行う必要があります。事務所ごとの前年度の実績を毎年度終了後、1 か月以内（4 月末まで）に行ってください。

メモ

毎年 4 月末までに事業所ごとの年次報告が行われない場合は、情報管理センターから各自治体等に報告されます。

ポイント

フロン類年次報告に必要な項目

- 1) 自動車メーカー等への引渡数量^{*1}
 - ・前年度に自動車メーカー等へ引き渡したフロン類の種別（CFC（R12）/HFC（R134a））ごとの量
- 2) 再利用量^{*2}
 - ・前年度に再利用した台数およびフロン類の種別（CFC（R12）/HFC（R134a））ごとの量
- 3) 保管量^{*3}
 - 前年度 3 月末日に保管していたフロン類の種別（CFC（R12）/HFC（R134a））ごとの量

メモ

- *1 自動車メーカー等における引取量が、電子マニフェストシステムの画面上で自動的に計算・表示されるため、これを参考に入力してください。
- *2 「フロン類再利用車台の連絡」により、フロン類を再利用した車台番号および台数は、システム上で記録されていますが、再利用量については、各事業所において記録しておく必要があります。
- *3 保管量は、各事業所において記録しておく必要があります。

- ・ フロン類の年次報告を行う前に、報告対象年度の移動報告実施状況（%表示）を確認し、報告状況が低い場合には、再利用連絡で連絡もれがあった可能性が考えられますので、必要に応じて再利用車台連絡を行うようにしてください。報告期間中（4 月末まで）は修正可能です。
- ・ 報告がされていない場合、報告が実施されるまで、メニュー画面上に「フロン類年次報告を忘れずに報告してください」と赤字で警告表示されます。
- ・ 報告期限（4 月末まで）内に報告がなかった場合は、情報管理センターから自治体等へ報告されます。なお、前年度に回収実績がなかった場合でも報告が必要となります。

👉 ポイント

年次報告のために、フロン類回収実績日次管理台帳^{*1}に「kg 単位」で記録しておくことをお勧めします。
詳細は、「パソコンを利用した移動報告（電子マニフェスト）詳細マニュアル フロン類回収工程編」を参照してください。

年次報告の対象業者

前年度（4月～翌年3月）		自治体登録（当年度4月1日時点）	
回収実績	保管	有（実業）	無（廃業）
有	有	○	○
	無	○	○
無	有	○	×
	無	○	×

〔 ○：報告 必須
×：報告不要 〕

*1 フロン類回収台帳サンプル

フロン類回収台帳		
ポンベ番号 _____	上限重量 kg フロン種別 HFC・CFC	
No.	車台番号	回収後のポンベ重量
1		
2		
3		
4		
5		
6		

2

フロン類の年次報告の手順

〔3.1 フロン類年次報告〕

① 報告対象年度の選択

フロン類回収工程 > フロン類年次報告 >
報告年度の選択 (JPRS2600)

メニューに戻る ログアウト 画面印刷 ヘルプ

4/1～4/30の期間は、前年度の報告内容を変更することが可能です。
5/1以降に変更する際は、年次報告が既に完了していますので、いったん取消してから再報告してください。

1. 報告実施事業者（自社）情報
事業者コード 222222289901 事業者/事業所名 [詳細] 品川解体工業（株）品川工場

2. フロン類年次報告の対象年度選択

報告年度	実施状況	報告選択
2008年度分	未実施	選択
2007年度分	済	選択

メニューに戻る

① 報告対象年度を確認し、「選択」ボタンをクリックします。



ポイント

報告対象年度は、前年度および前々年度が表示されます。前々年度分が未報告の場合、はじめに前々年度分の報告がなされないと前年度分の報告はできません。

② フロン類年次報告

事業所ごとの前年度の実績を情報管理センターへ報告

自動車リサイクルシステム 2009/04/10 18:25:31

フロン類回収工程 > フロン類年次報告 >
情報管理センターへの報告 (JPRS2601)

メニューに戻る ログアウト 画面印刷 ヘルプ

2008年度分のフロン類再利用率等に関する報告

報告日	2008年度分のフロン類移動報告実施状況
	96%

(注)実施状況が不十分な場合、左下の「再利用連絡画面」をクリックし、フロン類再利用車台連絡を行った後に本画面でフロン類再利用率等の年次報告を行うようにしてください。

1. 対象期間
対象期間 2008/04/01 ~ 2009/03/31(2008年度) 報告期限 2009/04/30

2. 報告事業者情報
事業者コード 222222289901 事業者/事業所名 [詳細] 品川解体工業（株）品川工場 取扱フロン種別 CFC/HFC

3. 自動車メーカー等へ引き渡した量
※左側の(参考)を参照しながら、右側の入力欄に各項目の数値を入力した上で、右下にある「センターへ報告」をクリックしてください。

自動車メーカー等による引取量			自動車メーカー等への引取量		
フロン種別小計			フロン種別小計		
CFC	HFC	合計	CFC	HFC	合計
7267.6 kg	831.4 kg	8099.0 kg	[] kg	[] kg	[] kg

4. 自ら再利用した量
※左側の(参考)を参照しながら、右側の入力欄に各項目の数値を入力した上で、右下にある「センターへ報告」をクリックしてください。

再利用連絡済車台数			フロン類再利用率		
フロン種別小計			フロン種別小計		
CFC	HFC	合計	CFC	HFC	合計
183 台	32 台	215 台	[] kg	[] kg	[] kg

5. 前年度の3月31日現在で保管していた量
※左側の(参考)を参照しながら、右側の入力欄に各項目の数値を入力した上で、右下にある「センターへ報告」をクリックしてください。

保管車台数			フロン類保管量		
フロン種別小計			フロン種別小計		
CFC	HFC	合計	CFC	HFC	合計
25 台	4 台	29 台	[] kg	[] kg	[] kg

センターへ報告

- ① 前年度に自動車メーカー等（指定引取場所）に引き渡したフロン類の種別ごとの量を入力し「計算」をクリックし、合計値を表示します。
- ② 前年度に再利用した台数およびフロン類の種別ごとの量を入力し「計算」をクリックし、合計値を表示します。
- ③ 前年度3月末日に保管していたフロン類の種別ごとの量を入力し、「計算」をクリックし、合計値を表示します。
- ④ 「センターへ報告」をクリックします。



メモ

詳細は、「パソコンを利用した移動報告（電子マニフェスト）詳細マニュアル フロン類回収工程」を参照してください。

3 事業者登録情報の変更・削除

事業者（事業所）情報に変更が生じた場合は、自治体および自動車リサイクルコンタクトセンターにて変更手続きを行ってください。変更されていない状態で事業を継続されると、フロン類の回収・運搬料金のお支払いができないことがありますのでご注意ください。

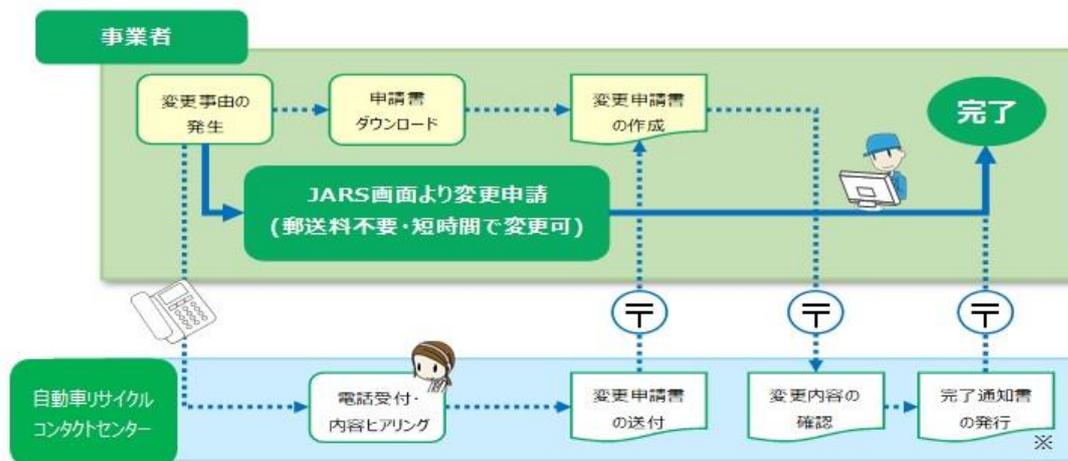
👉 ポイント

- ・事業所等の閉鎖等による「削除」の場合も同様に手続きしてください。
- ・一部の登録情報については WEB 上での変更が可能です。詳細は下記 HP をご覧ください。

[自動車リサイクルシステム TOP ページ](#) > [02.フロン類回収業者](#) > [各種申請書書式](#) > [【引取・フロン類回収・解体・破碎業者の方】事業者登録情報の確認・変更について](#)

- ・下記の手続きとは別に、自治体への変更届出が必要となる場合がありますのでご注意ください。

1 フロン類回収工程の事業者の場合の基本フロー



→ WEBで申請する流れ → 郵送で申請する流れ

👉 ポイント

WEBで変更できる登録情報

- ・事業者電話番号、FAX 番号
- ・事業者の担当部署名、担当者名、住所、電話番号、FAX 番号
- ・業者情報公開可否
- ・事業所電話番号
- ・事業所担当部署名、担当者名、メールアドレス、電話番号、FAX 番号

👉 ポイント

郵送で変更できる登録情報

- 事業者に関する内容（事業者名・代表者名・所在地・電話番号・FAX 番号）を変更する場合
- 事業者の担当部署に関する内容（担当部署名・担当者名・電話番号・FAX 番号）を変更する場合
- 事業所に関する内容（事業所名・所在地・電話番号）を変更する場合
- 事業所の担当部署に関する内容（担当部署名・担当者名・電話番号・FAX 番号・e-mail）を変更する場合
- システム登録完了通知書・支払明細書の送付先を変更する場合
- 自動車リサイクルシステムに登録している金融機関口座を変更する場合
- フロン類の運搬方法を変更する場合
- 自治体に登録されている取扱いフロン類種別（CFC（R12）、HFC（R134a）または両方）を変更する場合
- ボンベ種類(大型・1リットル・両方)を変更する場合
- 事業所分類(発送拠点・回収拠点・メーカー直送のみの拠点)を変更する場合
- 事業所の主たる業務(新車販売・中古車販売・自動車整備・中古部品販売/ELV 解体/粉碎等)を変更する場合

書類送付先・お問い合わせ先

自動車リサイクル CONTACT センター

郵便/〒105-8691 東京都芝郵便局 私書箱第8号
 公益財団法人自動車リサイクル促進センター 業者登録グループ
 電話/050-3786-7755

※自動車リサイクル CONTACT センターとは、関連する事業者からの
 自動車リサイクルシステムへの登録円滑に行うために設置した当局的な受付窓口です。

お問い合わせ先受付時間

 (9:00~18:00 土・日祝日・年末年始除く)

4 | ボンベ専用ケース

1 | ボンベでフロン類を引渡す事業者

専用ケースは無償貸与しますので、希望される場合は、「ボンベ専用ケース発注申込書」(7-3 ページ) に必要事項をご記入の上 FAX でお申し込みください。



5 自動車フロン類引渡状

1 自動車フロン類引渡状について

- 持ち込み方式を利用し、フロン類回収業者自ら、またはフロン類回収業者が手配した運搬業者がポンペを指定引取場所に運搬する場合、以下の「自動車フロン類引渡状」の記入・添付が必要になります。
- 指定着払い方式を利用する場合、自動車フロン類引渡状は不要です。

ポイント

引渡状は、自再協 HP よりダウンロードしてください

<http://www.jarp.org/>

自動車フロン類引渡状

2 自動車フロン類引渡状入れ

- ポンペの取手部分に「自動車フロン類引渡状入れ」をセットし、両端を付属のバンドで固定してください。
- バンドでの固定が難しいポンペの場合は、ガムテープ等を利用してしっかり固定してください。

ポイント

「自動車フロン類引渡状入れ」をご希望の場合は、自再協までご連絡ください

TEL: 03-5405-6150